

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	愛知県		代表者名	大竹 勇次	
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	総務局総務部情報政策課DX推進室	連絡先電話番号	052-954-6968
担当者役職	主事	担当者氏名	近藤絵衣巳	連絡先E-mail	
住所	460-8501 愛知県名古屋市中区三の丸3-1-2				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(複数団体)	事業名	DX特別研修		
概要	愛知県職員及び県内市町村職員向けに実施するDX特別研修(DXを推進できる人材を育成するため、実践形式でDXの取組に必要な考え方やスキルを習得し、課題解決の手法を学ぶことを目的とした集合研修)において、グループワークで実施したBPRについて、講評等をいただきたい。				
支援を求める分野	人材(DXに関する知識習得・研修・育成) その他				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年8月19日	支援・助言(実地)	10時00分	16時30分	60
			活動時間(分)	330	
2-2. 派遣場所	会場名	愛知県自治センター6階 602・603会議室		最寄駅	地下鉄名城線「名古屋城」駅
	所在地	愛知県名古屋市中区三の丸3-1-2		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	石塚 清香
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	グループワークでは、各グループが作成しているAs-Is業務フローについて、受講生からの質問や相談等に対応していただき、助言をいただいた。また、全体発表の時には、全グループの発表に対して、講評をいただいた。助言や講評をいただいたことで、業務のムダやムラが洗い出され、課題の要因が明確となり、To-Be業務フローを考えるための道筋ができた。また、To-Be業務フローを検討する上でのコツについてお話しいただいた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	40人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	40			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	BPRを行うための知識と経験が不足している。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	単なる電子化ではなく、業務の可視化を行うプロセスを習得し、行政の効率化・DXを推進し、県民・市民・職員の利便性を向上させること。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	業務フローの整理・検討のグループワークでは、各チームからの質問や相談に対し、BPRの考え方や手法などを基に、助言をいただいた。 業務フローの全体発表では、各チームの発表に対し講評をいただいた。		
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	業務の可視化を行うプロセスを習得することができた。 また、業務工程のムラやムダが洗い出され、課題が明確となった。		
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他 課題となっている業務のAs-Is業務フローを作成した。	具体的にご記入下さい。 支援を受けた事業が成果につ 因(自治体側に内在していた成	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回作成した業務フローを基に、10月21日の研修で、業務フロー (To-Be) を作成し、業務のあるべき姿を検討する。		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは現在集計中		
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する	具体的にご記入下さい。 支援を受けた事業が成果につ 因(自治体側に内在していた成
4-4. 事業の最終的な目指す姿	DXの取組をより推進できる人材を育成し、県民・市民の利便性向上を図る。		

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

